

9 月 27 日：VN 指数は小幅に反落 (VN-Index -0.04%)

- 心理的抵抗線である 1300 ポイントが強く意識され、VN 指数は本日、小幅に上昇して始まった。
- 前場ではその 1300 ポイントの抵抗線の突破を試みるような動きがみられたが、上昇圧力は続かずに失敗に終わった。
- 後場では値動きは穏やかになり、小幅の上昇幅を維持しながら推移したが、最終的にわずかに下落して大引けとなった。
- 銀行セクターが依然として主要な上昇セクターであり、石油・ガスセクターの下落が市場全体に影響を及ぼした。
- 148 銘柄が上昇、228 銘柄が下落、95 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は若干低下し、1.1%減の 21.5 兆ドンとなった。

VN30 指数はどうか上昇を維持 (VN-30 +0.13%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、11 銘柄が上昇、11 銘柄が下落、8 銘柄が変わらずとなった。
- STB (+2.60%)、SHB (+2.33%)が主要な上昇銘柄であった。
- 一方で VHM (-2.25%)、PLX (-1.43%)などが下落を記録した。

セクター・個別株の動き

- 国家証券取引委員会 (SSC) は情報開示規制違反のために TVB (+0.44%)に 6500 万ドンの制裁金を科すことを決定した。SSC によると同社はこれまでに数度の違反を犯しており、緩和の余地はなかったという。
- CTG (+1.65%)は取締役の選任のために臨時株主総会を開催すると発表した。本総会で選任が承認されれば同社の取締役会は 10 名となる。
- 外国人投資家は 2,500 億ドンの買い越しであった。FPT (-0.07%)、TPB (+1.50%)、VNM (+0.42%)が買い越し上位 3 銘柄であった。一方、VPB (+0.77%) は 1,600 億ドンを超える売り越し額を記録した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。